

## 対象国における開発ニーズ(課題)

- ・経済成長を背景としたコンピューター所有人口の増大により、プリントインクカートリッジの消費が増大している。
- ・使用済みカートリッジの処理は追い付いておらず、廃棄物量を削減するためには、リサイクルを進める必要がある、
- ・リサイクルを進めるためには、住民のリサイクル意識を高めつつ、効率的回収システムを構築することが課題となっている。

## 提案製品・技術

- ・新品同様の高品質なプリントインクカートリッジを再生する技術。色の細かな調整や色差の管理を実現。
- ・住民参加型のプリントインクカートリッジ回収システム。回収ボックスを公共施設や量販店等に設置し、その設置費も運送費も提案法人が負担することで住民参加を促進している。

## 本事業の内容

- ・ 契約期間: 2022年7月～2023年8月
- ・ 対象国・地域: インド国デリー首都圏
- ・ カウンターパート機関(想定): デリー政府環境局、ニューデリー行政委員会
- ・ 案件概要: 使用済みプリントインクカートリッジを回収・リサイクルして再生品を販売することにより地域に循環型経済モデルを構築する事業に関する案件化調査。本事業を通じ、リサイクルインクカートリッジビジネスの展開を図るとともに循環型社会の構築を促進し、人々の環境意識の向上や地域の産業育成に貢献する。



## 開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・提案法人と現地パートナー企業が出資して設立する現地法人(合弁会社)が、使用済みプリントインクカートリッジを回収・リサイクルして再生品を販売するビジネス。
- ・高品質な再生品を供給することにより、増加するプリントインクカートリッジ需要に応えると同時にプラスチック廃棄物量の削減に寄与する。
- ・住民参加型の回収システムを導入することにより、地域におけるリサイクル意識を醸成する。

## 対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・電子廃棄物・プラスチック廃棄物の埋立・焼却処理量の低減。
- ・地域における廃棄物回収システムの構築を支援。
- ・地域住民のリサイクル意識の醸成・向上。
- ・回収システム、リサイクル工場等での雇用拡大。